

令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	白石町立有明南小学校 児童数 100人	担当者名	木下 しおり・吉原 ゆかり
住所	郵便番号 849-1207 佐賀県杵島郡白石町大字深浦 5581 番地 1	電話番号	0954-65-4169

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	確かな読書力を身につけよう！ ～文字のある本にチャレンジ～
	取組期間	令和4年 4月13日 ～ 令和4年 11月30日


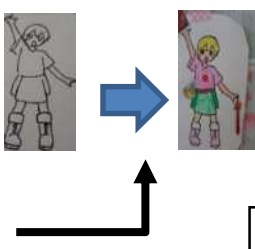








※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	100人	実施日数	120日	読書冊数	12,246冊	連携した団体数	2団体
	取組内容（概要）	<p>①継続的な来館を促す～「『ペーシ』と一緒に本の世界に出かけよう！」～ 「ペーシ」とは、図書室のキャラクターであり、『異世界人の「ペーシ」が本を読む旅に出かけていく。児童は読書をすることで、ペーシを知識あふれるものに成長させていく』という設定で、1年間の貸出冊数を達成してもらう。 ※写真①</p> <p>②読書量の底上げを図る取り組み～「3つ星めざして、本気でダッシュ！」～ 9月と11月を読書強化月間に設定し、学年ごとに1ヶ月間の貸し出し冊数を競い合う。1位の学年には、本校校長より賞状と賞品を渡してもらうこととした。11月は「リベンジ編」として、同じ取り組みを行った。 ※写真②</p> <p>③読書力につながる取り組み～「読書につながる楽しみ方はいろいろです！」～ (a)毎月1回、お話会「山びこ」のみなさんに、読み聞かせに来ていただいている。 (b)町の公共図書館から、毎月1回のペースで本を借用している。 (c)図書委員会の活動…ICTを活用した紙芝居ふうの読み語りやクイズ。 (d)子ども佐賀新聞を読もう！ ※写真③</p>						
	工夫したこと	<p>①図書室入口に一人一人の「ペーシ」画を掲示。貸出冊数に応じて、色づけをしたり、アイテムをつけたり、達成度を可視化。</p> <p>②ねらいとしては、図書室から遠ざかっている児童の来室を促すことである。明確な目標を提示し、特典を付与することで、全体のやる気を促した。学年ごとの目標冊数を数直線にした表を、図書室近くに掲示し、エールを贈る言葉を書いた付箋を貼ったり、途中経過を放送したり、児童の関心が続くように配慮した。</p> <p>③(a)地元のボランティアの方々が、学年に応じた本や季節を感じられる本を、やさしくていねいに読み聞かせをしていただいている。 (b)「ゆうあい図書館コーナー」としてコーナーを作り、破損等ないように、借りる時のきまりを掲示している。 (c)委員会活動では、1学期には、「ルラルさんのにわ」（いとうひろし作・ほるぷ出版）を題材に、パワーポイントを使って読み語りを行った。2学期は、タブレット</p>						

	<p>ト端末のスライドを使って、本の題名当てクイズを行った。準備から実行まで、ICT担当の先生にも協力してもらい、「観る」「聞く」「考える」ことのできるイベントになった。</p> <p>(d)地元の佐賀新聞販売店さんをお願いをして、各学年に配布をしている。まずは新聞を身近に感じてもらうことが今年度のねらい。新聞からクイズを出す担任もいる。一般紙の切り抜きを紹介すると、読んでくれる児童が少しずつ増えてきた。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>年間を通じての目標を達成するために、期間限定のイベントをいくつか組み込んでみたところ、昨年度より図書室へ来る児童が増えた。たくさん本を借りたい児童には、迷路や数独を解くともらえるプラス1冊券が好評だった。②の取組については、期間が1ヶ月ということで、1回目の9月は、関心を持続させることに苦心した。当初の予定では、9月の1回のみの予定であったが、児童から再チャレンジの要望があり、2回目のリベンジ編を行うことになった。児童の読書意欲を喚起したことで、ねらいであった読書量の底上げにつながる手ごたえを感じる事ができた。</p> <p>1回目は2年生が、2回目は3年生が1位になった。1位の学年には、校長より賞品を渡した。渡す際に一人一人に言葉を添え、児童がはにかみながらもとても嬉しそうな表情を浮かべていた。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>これまでも貸出目標冊数を達成する取組は行ってきたが、今年度は、児童ごとのキャラを成長させていく設定で、読書推進活動を行っている。自分の分身が成長していく姿を見て、一人一人の読書への関心が昨年度よりも高くなっていると感じている。学校全体の読書活動がよりよいものになっていってくれることを期待している。</p> <p>また、本校は公共図書館まで距離が遠く、児童だけで行くことはできない。本の借用を心待ちにしている児童も多く、引き続き継続していきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、地域ボランティアの方の読み聞かせが中止になり、急遽、校長がリモートで読み語りを行ったこともある。それをヒントに、今年度初めてICTを活用した取組を行った。今後はどんなことができるのかを考えていきたい。同時に、絵本から長い読み物への移行期に、本の厚さに対して壁を感じないような後押策を模索していきたい。</p>

写真

<p>① 「ペーシ」と一緒に本の旅に出かけよう！</p>	<p>全体の掲示</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">本の旅の設定を記したもの</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">全校児童の掲示</div> </div>	<p>貸出冊数に応じて進化</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">拡大図</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">冊数ごとに獲得できる</div> </div>
<p>② 「3つ星めざして、本気でダッシュ！」</p>	<p>第1回目 9月</p>  <p>校長先生からの表彰(2年生)</p> 	<p>第2回目 11月(リベンジ編)</p>  <p>校長先生からの表彰(3年生)</p> 
<p>③ 本の楽しみ方はいろいろです！</p> <p>【地域の力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お話し「山びこ」の読み聞かせ 	
<p>【公共図書館の協力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうあい図書館の貸出 <p>4月から、のべ700さつほどの利用があった。借用するのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室にはない本 ・児童からのリクエスト (読み物やスイーツ本が多い) ・調べ学習 などがある。 	 <p>本をかりる時の約束事を掲示</p>
<p>【図書委員会の活動】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の時間に、電子黒板で鑑賞  <p>出典『ルラルさんのにわ』いとうひろし作 ほんぷ出版</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を使ったクイズ問題  <p>出典『スイミー』レイ・オニ作 音楽之友社</p>
<p>【新聞に親しむ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども佐賀新聞を読もう！  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>3年生教室では、読んで答える問題がそえられている</p> </div>	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>図書室では、新聞の読みどころをPOPで紹介している</p> </div>